

授業科目	成人看護学概論	単位	1	時間	30	履修時期	1年次 1学期
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 変動する社会状況に対応しながら生活する大人、生涯発達論や他者との相互性、生活と仕事といった概念に基づいて論理的に理解できる</li> <li>2. 個々人が社会において体験する生活と健康に焦点を合わせ、その人らしくあることができるように看護するための考えや方法論を理解できる</li> <li>3. 現代社会の要請に伴う医療サービスの質保証や医療システムの変革、看護が担う新たな役割や責務について理解できる</li> <li>4. 「成人の健康生活を促す看護技術」対象に対して具体的な行為や行動として看護を提供するための看護技術について理解できる</li> <li>5. 医療技術・システムの発展によりもたらされた「新たな治療法、先端医療と看護」について理解できる。また、療養の場の移行に伴う看護援助として、「退院支援の看護技術」について学び、さらに、国民病であるがんと共生を促し、がんになっても充実した人生を送るための看護を理解できる</li> </ol>						
授業内容（講義）の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1～2. 成人の理解、働いて生活を営むこと</li> <li>2～4. 成人への看護アプローチの基本</li> <li>5～8. 健康状態の経過に基づく看護 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 急性期における看護</li> <li>2) 回復期における看護</li> <li>3) 慢性期における看護</li> <li>4) 終末期における看護</li> </ol> </li> <li>9. 学習者である患者への看護技術 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) エンパワメント-エデュケーション</li> <li>2) セルフマネジメントを推進する看護技術</li> </ol> </li> <li>10. 成人をとりまく環境と生活</li> <li>11. 健康生活と健康をまもりはぐくむシステム</li> <li>12. ヘルスプロモーションと看護</li> <li>13. ヘルスプロモーションを促進する看護</li> <li>14. 健康バランスの構成要素と要因</li> <li>15. 生活行動がもたらす健康問題とその予防</li> <li>16. 試験</li> </ol>					担当者（時間）	専任教員
評価	筆記試験						
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[1] 成人看護学総論（医学書院） 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[4] 臨床看護総論（医学書院） 国民衛生の動向（厚生統計出版会）						
備考							

授業科目	成人看護実践方法論 I (呼吸機能・腎機能・内分泌機能に障害のある患者の看護)	単位	1	時間	30	履修時期	1年次 2学期
学習目標	健康障害時の対象に行う看護を理解するために、各系統別に代表する疾患から看護を学ぶ						
授業内容 (講義ごとの内容)	<p><b>【呼吸器疾患患者の看護】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>慢性閉塞性肺疾患の特徴と看護</li> <li>肺がんの特徴と看護</li> <li>酸素療法を受ける患者の看護</li> <li>気管切開・人工呼吸器装着する患者の看護</li> <li>在宅酸素療法の看護</li> </ol> <p><b>【腎疾患患者の看護】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>腎臓機能、腎不全とその症状の看護</li> <li>慢性腎臓病の経過と看護</li> <li>透析の条件・バスキュラーアクセスの看護</li> <li>血液透析を受ける患者の指導</li> <li>腹膜透析を受ける看護と指導</li> <li>腎移植を受ける患者の看護</li> </ol> <p><b>【糖尿病患者の看護】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>糖尿病の特徴と看護</li> <li>食事療法の支援</li> <li>運動療法の支援</li> <li>薬物療法とインスリン療法の看護</li> <li>糖尿病の急性合併症と看護</li> <li>糖尿病の慢性合併症と看護</li> <li>演習：自己血糖測定</li> <li>試験（呼吸器疾患・腎疾患・糖尿病患者の看護）</li> </ol>					担当者（時間）	
						松江医療センター 看護師 米子医療センター 看護師	
評価	筆記試験						
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[1] 成人看護学総論 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[8] 腎・泌尿器 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[6] 内分泌・代謝 (医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[2] 呼吸器 (医学書院) 経過別看護過程の展開 (学研)						
備考	演習は複数講師で行う						

授業科目	成人看護実践方法論Ⅱ (循環機能・造血機能・脳神経系に障害がある患者の看護)	単位	1	時間	30	履修時期	1年次 2学期
学習目標	健康障害時の対象に行う看護を理解するために、各系統別に代表する疾患から看護を学ぶ						
授業内容 (講義)との内容)	<b>【脳血管疾患患者の看護】</b> 1. 脳卒中により障害をもちながら生活するということ 脳卒中の病態と種類による特徴と機能障害の看護 2. 脳卒中の急性期治療を受ける患者の看護 1) 病態、治療、来院時・入院～手術までの看護 2) 術直後～術後14日・回復期～退院までの看護 3. リハビリテーションとの連携と生活行動の援助  4. ALS・神経筋難病患者の看護の特徴 5. ALS・神経筋難病患者の看護の実際 6. 試験  <b>【循環器疾患患者の看護】</b> 1. 虚血性心疾患の特徴と看護 2. 心臓弁膜症の特徴と看護 3. 末梢閉塞性動脈疾患の特徴と看護 4. 心不全患者の看護  <b>【血液疾患患者の看護】</b> 1. 急性骨髄性白血病の特徴と看護 2. 悪性リンパ腫の特徴と看護 試験(循環器疾患患者の看護・血液疾患患者の看護)					担当者(時間)	
						専任教員 松江医療センター 看護師 米子医療センター 看護師	
評価	筆記試験						
テキスト	専門分野Ⅱ 成人看護学「7」 脳・神経 (医学書院) 専門分野Ⅱ 成人看護学「3」 循環器 (医学書院) 専門分野Ⅱ 成人看護学「4」 血液・造血器 (医学書院) 他						
備考							